

# 近畿中国局フォレスターNEWS

## 小規模林家支援推進協議会総会（新見市）



4月19日に、岡山県の新見市森林組合で平成28年度新見市小規模林家支援推進協議会総会が開催されました。

当協議会は、新見市の小規模林家自らによる森林整備を推進するために関係者間の連絡調整を図り、森林の適正な保全管理の推進や山村地域の活性化に向けて関係機関が連携して取り組むことを目的とし、近畿中国森林管理局、中国四国農政局、岡山県、新見市、新見市森林組合、小規模林家の代表者等を構成員として、平成26年3月から開催しています。総会では、作業部会の活動報告、平成28年度の活動計画、収支予算等について協議が行われました。これまでは予算措置がない状態でしたが、新見市で自伐型林業支援事業委託料として800万円の予算が生まれ、①森林施業コーディネーターの配置、②森林情報収集や施業勧誘の実施、③収集した情報により自伐型の森林施業を行うための人材を集め、安全技術講習会等を実施、④自立して林業経営ができる体制の整備等を図ることとしました。さらに今回の活動の中でグラップル等のリースも行われる予定です。

近畿中国森林管理局は、協議会に設置された「良好な森林づくり部会」、「循環型社会創生部会」に今後も引き続き参画し、国有林として支援していきます。

## 県産材の需要動向に関する研修会（広島県）

5月26日、県産材の需要者ニーズを把握することを目的に、広島県林業課主催の「県産材の需要動向に関する研修会」が、北広島町大朝のひろしま木材事業協同組合集出荷施設及び中国木材(株)北広島工場で開催され、広島県及び広島森林管理署、広島北部森林管理署、広島水源林整備事務所等の関係者22名が参加しました。

まず、県産材流通の現状及び安定供給の必要性等について県林業技術指導担当から「昨年度の価格動向として、特にヒノキ3m材の価格変動が激しく、需要があると大きく上がり、不需要期は低迷する。需要を適切に把握してこれに応じた供給を行うことが価格の安定化に繋がる。」等の説明がありました。

その後、ひろしま木材事業協同組合の土場に場所を移し、「目廻り、虫食い等」の製材に不向きな欠点材の見本を使いながら、出材するうえでの留意事項について説明がありました。

今後も広島署、広島北部署は、木材の流通等にかかる様々な情報を得ることができる研修会等に積極的に参加しつつ、国産材、県産材等の安定供給の一端を担うことができるよう取り組んでいきたいと考えています。



ひろしま木材事業協同組合会議室



ひろしま木材事業協同組合土場

林野庁  
近畿中国森林管理局  
技術普及課



TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055  
URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>  
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

## 編集後記

今号では、小規模林家への支援に関する取組を記事にしました。小規模林家の方への支援も大切なことだと考えています。今後も国有林はもとより民有林担当者の方からも情報提供いただき、各地域での取組に関する情報共有に努めたいと思いますので、よろしく願いいたします。